

筑西市の未来へ向けて、中学生からのメッセージ

人と人とのつながりを

下館中3年 塚田航さん



この筑西市が誕生して、約3ヶ月がたち、『筑西市』という名に愛着がわいてきました。僕は、このまちが『つながり』を大事にするまちになってほしいと思います。中学生同士のつながり、地域の人とのつながり、『つながり』という名の輪がどんどん広がっていくまちなってほしいです。来月、筑西市の全ての中学校生徒会が交流会を開きます。これは、私たち筑西市の中学生がお互いの学校

の良さを確かめ合い、課題を見つけ、切磋琢磨していくための第一歩なのです。これを機に、中学生と地域の人との輪をもっと広げていきたいと思えます。私たちのまち筑西市は、市長さんや市議会議員さんだけではなく、私たち筑西市民一人ひとりも手を取り合ってつくっていくものなのです。自分たちでつくっていくからこそ、本当に心から愛着の持てる『まち』になっていくのだと思います。

筑西市の良さをいかして

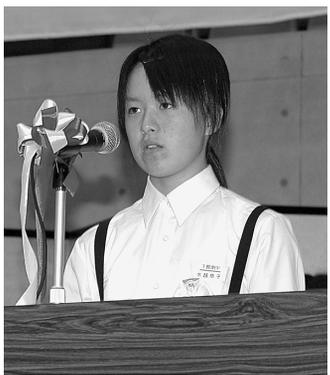
下館西中3年 森田美咲さん



私が未来の筑西市に望むことは『田舎と都会の共存』『みんなの幸せ』このふたつです。筑西市には、今までの自然や文化を残しつつ発展させ、便利で豊かになってほしいと思います。田舎と都会、それぞれにいろいろな良さがあります。例えば都会は人口も多く、文化活動や商工業が盛んで活気があり、田舎は豊かな自然とのどかな風景が広がり、人々の心の原点、心のふるさととなっています。もし、このふたつの良さを兼ね備えることができれば、筑西市はとても住みやすくなるはずですが、そして、子供からお年寄りまで誰もが安心して幸せに暮らすことができる、心豊かな福祉のまちになると思います。そのために、市民全体が一丸となって筑西市の発展に尽くすことが大切です。私たち中学生も、市民の一人として、少しでも力になりたいと思います。

私の描く未来の筑西市

下館南中3年 水越恭子さん



『緑あふれる住みやすい素敵な都市』、それが、私の描く未来の筑西市です。

世界中で環境破壊が叫ばれる中、筑西市にはまだ豊かな自然が残されています。しかし、自然は壊れやすいものです。自然を残すためには、市民一人ひとりの絶え間ない努力が必要です。

私たち筑西市民は、産業の発達や市民の便利な生活の引き替えとして自然を破壊することなく、この豊かな自然を未来の筑

西市に引き継がなければなりません。

私も市民の一人として、豊かな自然を守るために、積極的にボランティア活動に取り組みたいと思います。そして、子どもからお年寄りまで全ての人が住みやすい調和のとれた素敵なまち作りのために役立ちたいと考えています。

人に優しい筑西市へ

下館北中3年 永井美希さん



下館、関城、明野、協和、4つの別々な市町から筑西市という一つの大きな市に移り変わり



ました。それによって、これまで各地域で行われてきた様々な行事なども一つの大きな行事へと変わろうとしています。

これからの筑西市、私は、高齢者にも子どもにも、ハンディキャップのある人にも安全で住みやすい、バリアフリーな市になつてほしいと思います。

また、緑があふれる、環境にも優しい筑西市にもなつてほしいです。自然は私たちの環境を綺麗に保ち、心も和ませてくれます。

私は、多くの人々が住んでいるこの筑西市を、どんな人にも大好きと言ってもらえるような、緑にあふれ、安全で人や環境に優しい筑西市になつてほしいと願っています。

羽ばたけ未来の筑西市

関城中3年 勝沼友紀子さん



私たちの住む街、それは緑にあふれ、数本の河川が流れる自然豊かな所です。『筑西市』と生まれ変わった今、私はこの市が、誰もが住みやすく、一人ひとりが協力しあえるものになつてほしいと願っています。そのため、次の2つのことを考えています。

まず、福祉の面での充実を図ることです。今後ますます高齢者が増加します。介護施設を増やしたり、介護サービスを受けやすくしたりするなど、高齢者や体の不自由な人が、安心して生活できる環境を整えてほしいです。

次に、地域間の交流を増やすことです。旧市町のたくさんの伝統行事やイベントが、すべて自分の市のものになります。積極的に参加し、それぞれの地域

の人と、より親密な関係を築きたいと思います。

まちを作るのは市民一人ひとりです。人々のふれあい何よりの原動力です。合併により、未来に羽ばたく素晴らしいまちになることを願い、私も市民の一人としてがんばってまいります。

筑西市の未来への夢と希望

明野中3年 比氣靖大さん



平成の大合併に伴い、1市3町の合併にて新市『筑西市』が誕生しました。合併は新たな出発点でもあります。今までに1市3町色々な取り組みもなされてこれ、それぞれに素晴らしい貴重な伝統や文化、自然遺産を築いてこられた事と思います。それらを調和し、うまく意見を取り入れながら、『人と自然、安心して暮らせる共生文化都市』の建設をめざして頂き

たいと思っています。また、私たち中学生においても、それぞれの学校の生徒会活動の取り組みや特色などの情報交換を通して、交流をさらに深めていく事が学校改革のエネルギーとなります。そして、他校のもつている良さを学び合い、切磋琢磨できるよう取り組んでいきたいと思っています。最後になりますが、

筑西市立明野中学校の新たな歴史と伝統を築き、明るく楽しく夢が語れる学校づくりに努めていきたいと思っています。

筑西市の未来への夢と希望

協和中3年 皆川さつきさん



わたしは、『田舎へ泊まる』というテレビ番組が好きです。芸能人が突然、民家を訪れ、一泊させてもらうという内容のもので、人の温かさが伝わってきて、涙が出てきそうになることもしばしばです。

温かい心をみんながもつて、助け合える地域社会になることがわたしの理想の一つです。赤ちゃんや幼い子、そしてお年寄りには特に気を配り、優しい言葉をかけてあげたり、手を差し伸べることを自然にやれたらいいなと思います。街中に笑顔があふれているなんてすてきなとだと思っています。

次に、大人が責任感を持つということも大切なことです。特に親として本心に子どもを愛する義務を果たさなくては、社会の乱れの悪循環を招くことになるからです。みんなが、少しがまんして、大きな安心を得られる社会になれるといいと思います。

私たちがおとなになる頃にはこんなまちであって欲しい。筑西市誕生記念式典の中で市内7中学校の生徒会長が市の未来に対する夢や希望を發表しました。